

## 平成 29 年度入学式式辞

本日は、日頃、学生が実習などで、大変お世話になっております聖マリアンナ医科大学病院をはじめとする看護関係者の皆様、幼稚園・保育園協会関係者の皆様、また、本学後援会および学園関係者の皆様のご臨席をいただきましたこと、心から御礼申し上げます。

また、物心両面で新入生を支えて下さっている、御家族はじめ、関係者の皆様には心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。

一番の喜びは、この桜の満開のこの良き日に、入学する皆さんでしょう。

ご入学おめでとうございます。

本学の母体は昭和 15 年（1940 年）に設立された学校法人堀井学園です。本学は、平成 24 年 4 月に、看護学部とこども教育学部の 2 学部を持つ横浜創英大学が開学いたしました。

さらに、平成 28 年 4 月からは、大学院看護学研究科を開設し、教育・研究の最高学府としての機能を有するようになりました。これからも、本学は、高度な教育・研究機関として発展し続けて参ります。

このように、両学部の新入生の皆さんは第 6 期生になり

ます。そして、大学院の新生は第2期生となります。大学院に入学される皆さんは、看護者としてすでに活躍されている社会人入学生です。このことは学部の新生の皆さんには、大変な刺激になると思います。

この3月に、看護学部とこども教育学部、合わせて140名の学生が、第二期生として卒業してゆきました。看護学部では、就職希望者の全員が病院等に就職いたしました。

また、こども教育学部では進学した者を除いた就職希望者のほぼ全員が保育園・幼稚園を中心に就職できました。

皆さんの前には、このような看護職、保育職になるという目標があります。今、皆さんは、この目標に向かって、スタートラインに付いたわけです。皆さんは、いろいろなタイプの入学試験で入学し、スタートラインに立っているわけです。

どのような入試で入学したか、また高校までの成績がどうであったかなどはすべて忘れてください。今、皆さんは、今日から一斉にスタートします。テストの偏差値などは、ある見かたの一つに過ぎません。皆さんにはいろいろな能力、個性、才能があります。それを大学で伸ばして欲しいと思います。われわれ教職員は、4年間かけて、皆さん一人ひとりの能力、個性、才能を大切に育てて行きたいと思えます。

とくに、あきらめずに努力する能力を養ってください。  
そして、看護職、保育職という目標に向かって、入学時から卒業まで、あきらめずに努力し続けて欲しいと思います。

新入生の皆さんに、いくつかお話ししておきたいと思います。

一つは、本学の建学の精神についてです。

本学の「建学の精神」は、学園の創設以来一貫して引き継がれている「考えて行動できる人」の育成です。この創立時の理念は、70 数年経ても決して時代遅れになってはいません。むしろ、現在のような混沌として、情報過多になっている時代にこそ必要な大切な考え方であると思います。

この精神はいろいろの解釈が考えられます。私から皆さんに4年間の宿題を出しておきます。「皆さん一人ひとりが建学の精神をどのように考えるか」を卒業するまでに考えておいてください。

もう一つは、皆さんの目指している看護職、保育職は、人を対象にした大切な職業であることです。

AI (Artificial Intelligence)、人工知能やロボットなどの発展で、将来、これらによって代替される可能性のある職業が予想されています。しかし、看護職や保育職(保育士、幼稚園教諭)は代替の可能性の低い職業になっています。これは人を対象にした大切な職業で、機械では対応できな

いということなのです。

そのためには、会話力、観察力、判断力、優しさ、正確さ、五感などを鍛えることが大切です。これからも、皆さんの持っているこれらの能力をさらに、磨きをかけてください。

皆さんは、大学に入学したことをどのように感じているのでしょうか？ 自分自身が、何で大学に入学したのだろうと思っている人もいると思います。

小学校から高等学校までの勉強と大学から社会にでてからの勉強は違います。高校までの教育は、正解のある問題を解くことでした。  $1 + 2 = 3$  のように、必ず答えのあることを習います。また、いろいろな知識を学んできました。これも大事なことです。

しかし、大学や社会に出てからは、答えが複数ある問題にも立ち向かわなければなりません。  $3 = ?$  ということです。このためには、知識だけではなく、いわゆる知恵も必要となります。

大学で、知識と知恵を絡み合わせ、皆さんはさらに成長し、卒業時に、この大学に入学して良かったと、思ってもらえるような教育をしていきたいと思います。

最期に、日本だけではなく、世界を見つめて行動して

欲しいと思います。6年前の東日本大震災でも世界中の人々から、勇気をもらいました。自分の生きている場と世界を関係づけると、視界が開けてきます。

この第一歩として、まず大学でのクラブ活動、ボランティア、友達作りから始めてみてください。その出会いを大切に、世界中にその輪を拡げてください。

最後に、新入生の皆さん、全員が、健康に留意し、無事、卒業されることを心から祈念して、私の式辞といたします。

平成 29 年 4 月 4 日

横浜創英大学学長 小島謙一